

## 次号予告

### 特集 多目的意思決定の深化と応用

- 不確実状況下における多目的計画問題に対する意思決定手法.....矢野 均 (名古屋市立大学)  
農業政策の策定と多属性効用分析を用いた評価.....林田智弘 (広島大学)  
進化型多数目的最適化の現状と課題.....佐藤寛之 (電気通信大学), 石淵久生 (大阪府立大学)  
多目的意思決定の配電系統運用への適用—進化計算の応用—.....関崎真也 (広島大学)  
多数目的最適化の応用研究の現場から—再生可能エネルギーベストミックスの探索事例—  
.....松井孝典・堀 啓子 (大阪大学)  
看護師勤務表作成問題に対するヒューリスティックおよび厳密解法に基づくアプローチの現在  
.....渡邊真也・稲船淳也 (室蘭工業大学)

### メーリングリストに登録しよう

会員の方は、本学会のメーリングリストに登録すると、学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。登録方法については、<http://www.orjs.or.jp/members/mlhowto.html>をご覧ください。

### 編集後記

●オペレーションズ・リサーチに関わっていると、研究を通して「目的関数」は何なのかを常に問われます。どういう軸で、どういう尺度で、対象の良し悪しを考えているのかを明確にすることになります。日常生活では、そこまで厳密に考えることは少なく、大ざっぱに「目標」として意識する程度かもしれません。しかし、新年を迎え1カ月が過ぎ、今年目標を改めて思い返したいところです。

●そして、新年度が始まるまで、あと2カ月を切りました。会社に大学、研究室にゼミナール、部活やサークルといった組織に新人がやってくる季節です。もち

ろん、組織には目的・目標がありますが、それがはっきりして、所属メンバーに共有されるほど、組織としてしっかり機能します。しかし、所属メンバーには、いわゆる温度差があって、皆が同じ程度の目標をもてることは稀であることも経験上わかります。

●私も新年度に初めてゼミナールを設立することとなり、個々人を尊重しつつ、全体の目標も大事にしたい、そんな「二目的」について悩む立場になりました。諸先輩の教えと、オペレーションズ・リサーチの課題解決の精神で、取り組んでいきたいと思います。

(小林隆史)

### オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 猿渡 康文 (筑波大学)

特集担当編集委員 生田目 崇 (中央大学)

委員 池辺 淑子 (東京理科大学), 石井 儀光 (国立研究開発法人建築研究所), 井床 利生 (日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所), 鷗飼 孝盛 (慶應義塾大学), 小林 隆史 (立正大学), 榎原 静 (株式会社東芝), 佐久間 大 (防衛大学校), 笹谷 俊徳 (東京ガス株式会社), 佐藤 圭介 (公益財団法人鉄道総合技術研究所), 高野 祐一 (専修大学), 中原 孝信 (専修大学), 生田目 崇 (中央大学), 蓮池 隆 (早稲田大学), 原田 耕平 (株式会社NTTデータ数理システム)

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成29年2月号 第62巻 第2号 通巻674号

代表者 大山 達雄

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<http://www.osrj.or.jp/>

編集人 猿渡 康文

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。

・本誌への広告のお申込みは、明報社 (Tel 03-3546-1337) へ。